

# 植民地政権反対！米軍は撤退せよ！

## 米国防総省ORHAへの要員派遣反対

アメリカは早くも植民地政権作りを始めました。アメリカの戦争は国際法違反、国連さえ無視した侵略戦争でした。そして、いま作ろうとしている統治機構は植民地政権、軍事独裁政権そのものです。

アメリカは「イラク人を解放」したと言いますが、仮にフセイン政権が独裁政権であったとしても、アメリカは自分が軍事独裁で取って代わっただけです。北部のモスルでは米軍支配に反対する民衆が射殺され、ナシリアでは数千人の民衆が外で抗議する中、アメリカに選ばれた人間だけが密室で「暫定統治機構」作りをしています。

イラクの民衆には「解放」や「自由」などどこにもありません。私たちはアメリカによるイラクの植民地支配、植民地政権に反対します。イラクはイラク人民のもので



米は虐殺、破壊、  
人道危機の責任を取れ

アメリカは何よりもまず戦争で殺したり傷つけた数千、数万のイラク民衆、殺しまくったイラクの兵士に対して、インフラと都市の破壊について、責任を取らなければなりません。

アメリカの戦争のために起こった食料、水道、衛生施設、電力などの危機、人道的危機に対して責任があります。略奪をそそのかし見逃しながら、石油関連施設だけは警備するという露骨な権益確保の態度など許されません。イラクの資源と財産にハイエナのように群がるアメリカを徹底的に追及しましょう。

日本政府は植民地  
支配に協力するな

小泉政権は18日の閣議でこの植民地政権に人員を派遣すると決めました。政府が要員を派遣する「復興人道支援局 ORHA」とは国防総省の一機関です。いわばGHQや朝鮮総督府に相当

する軍政、占領軍、植民地支配に参加し協力するというとんでもない行為です。他国を軍事支配する機関に協力・加担するとは、小泉首相は憲法の平和主義を何と思っているのでしょうか。

有事法制の  
今国会成立阻止を！

政府は18日に国会で有事法制の審議を強行しました。イラクに続いて朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）でもアメリカが戦争をしかける可能性があります。小泉首相は、その時に軍事的に協力するために戦争法＝有事法制を何が何でも成立させるつもりです。この法律がなければ対北朝鮮で戦争ができないじゃないか - - これが小泉政権の本音です。彼らこそ平和への脅威、戦争扇動者に他なりません。アジアで戦争を煽るな！戦争準備をするな！反戦平和の声をブッシュと小泉に突きつけていきましょう。

的に協力するために戦争法＝有事法制を何が何でも成立させるつもりです。この法律がなければ対北朝鮮で戦争ができないじゃないか - - これが小泉政権の本音です。彼らこそ平和への脅威、戦争扇動者に他なりません。アジアで戦争を煽るな！戦争準備をするな！反戦平和の声をブッシュと小泉に突きつけていきましょう。

戦争を止めよう！平和を運ぼう！全国リレー行動

有事法制反対！ブッシュの戦争犯罪を追及する4/29集会

4月29日(休) 13:00-16:30 エル大阪 5階

イラク現地報告(「人間の橋」参加者志葉玲さん)/アメリカ現地報告(安倍陽子さん)他

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

ホームページ <http://www.jca.apc.org/stopUSwar/> e-mail: stopuswar@jca.apc.org 03.4.19